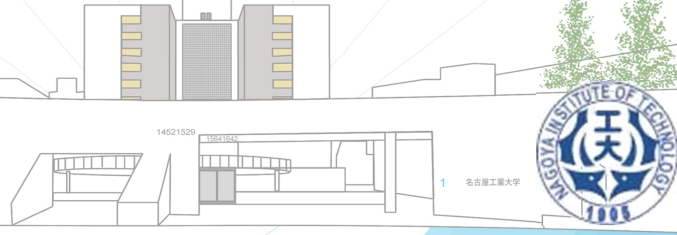


## 高校と大学の接続に関して思うこと ～あるアドミッションオフィス教員の独り言～

林 篤裕

(名古屋工業大学 社会工学専攻  
& アドミッションオフィス)  
e-mail: hayashi.atsumi@nitech.ac.jp



## 【概要】

- ◆ 大学のアドミッション部門は高等学校と大学の接続に関する業務を担っており、代表的なものとしては大学進学に関する情報提供が挙げられる。他にも入試に関する研究や評価、設計・支援やIR (Institutional Research)等が範疇に入る大学もある。これらの業務をこなすには自大学だけではなく広く日本の高等教育に起こっている状況を把握しておくことは勿論のこと、高等学校で行われている諸活動や抱えておられる課題等に敏感になっておく必要がある。アドミッションの諸活動に関わるようになって以来、高等学校と大学の接続はどうあるべきなのかを考えるようになった。
- ◆ 本講演では、アドミッションオフィス教員として日頃感じている事項をいくつか紹介し、高等学校現場におられる皆様のご意見もお聞きかせいただきながら、この課題を一緒に考えてみたいと思う。
- ◆ 日本の将来を担う若者の育成を担っている者同士として、今回の講演が多少なりとも考える端緒になれば幸いである。

2

## 【講演内容(案)】

0. 経緯
1. 自己紹介
2. 名古屋工業大学の概要
3. 私の考え
4. 私が感じる高等学校教育の現場
5. 進路指導
6. オープンキャンパスというイベント
7. 「年内入試」の是非
8. 高等学校教員の養成
9. 高等学校教員の主張のユレ
10. 大学という教育機関の意義
11. 調査書の大学入試での取り扱い
12. 大学の悩み
13. 高校生の気質
14. まとめに代えて
81. 蛇足

3

## 当日の提示資料について

- ◆ 今回の研究会参加に関し、いくつかの事項について講演させていただこうと考えております。しかし、先生方のご興味・関心に合うかも判りませんし、ページ数も増えそうですので、資源節約の観点から印刷したものを会場で配付することは控え、当日の提示資料や引用元URLを以下URLに掲載しておくことにしました。
- ◆ お手数ですが、必要に応じてアクセスしていただき、提示資料をダウンロード後印刷する等してお使いいただければと思います。



<http://stat.web.nitech.ac.jp/hai fu/#Takamatsu2410>

【注:すべて半角文字です】

4